



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年7月29日

上場会社名 ヲタカフーズ株式会社
コード番号 2806 URL <https://www.yutakafoods.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 淳

問合せ先責任者 (役職名) 業務部長 (氏名) 岸本 一人

TEL 0569-72-1231

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,732	2.1	316	21.8	372	17.4	264	15.4
2022年3月期第1四半期	3,811	5.3	405	0.0	451	1.1	312	6.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	38.08	
2022年3月期第1四半期	45.03	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	23,948	21,313	89.0	3,067.54
2022年3月期	24,481	21,185	86.5	3,049.15

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 21,313百万円 2022年3月期 21,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		20.00		20.00	40.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,750	10.5	620	12.0	680	11.3	430	19.0	61.89
通期	12,750	15.1	1,000	26.4	1,080	26.0	700	30.6	100.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	8,832,311 株	2022年3月期	8,832,311 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,884,207 株	2022年3月期	1,884,207 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	6,948,104 株	2022年3月期1Q	6,948,224 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、ワクチン接種の進展等による行動制限の緩和に伴い、経済活動が正常化に向かう一方で、急激な円安の進行、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化によるエネルギー価格や原材料価格の高騰、それに伴う物価高の懸念など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、消費者の需要衰退や購買行動の変容、より一層食への安心・安全に対する関心が高まるとともに、原材料価格や燃料費の高騰は続くと思われ、厳しい経営環境が継続していくと見込まれます。

このような状況の中で、当社は取引先のニーズを追求した提案型営業の強化とともに、各部門全てにおいて、既存設備の活用を重点に合理化・省力化の推進を図り、経営効率の向上と利益目標の達成に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は3,732百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は316百万円（前年同期比21.8%減）、経常利益は372百万円（前年同期比17.4%減）、四半期純利益は264百万円（前年同期比15.4%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

液体部門は、鰻のシラスの不漁によりたれの売上が減少しましたが、液体スープの売上が順調に伸び、売上高は1,004百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益は115百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

粉体部門は、顆粒製品の受託が低調に推移し、売上高は949百万円（前年同期比10.2%減）、セグメント利益は37百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

チルド食品部門は、受託が低調に推移し、売上高は430百万円（前年同期比13.7%減）、セグメント利益は74百万円（前年同期比38.1%減）となりました。

即席麺部門は、受託は前年並みに推移し、売上高は1,012百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は82百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

その他は、水産物の取扱量が増加し、売上高は335百万円（前年同期比32.0%増）、セグメント利益は6百万円（前年同期比61.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産の部は23,948百万円となり、前事業年度末と比べ532百万円減少しました。これは主に、売掛金が479百万円、その他（投資その他の資産）が65百万円減少したことによるものであります。

負債の部は2,634百万円となり、前事業年度末と比べ660百万円減少しました。これは主に、買掛金が332百万円、未払法人税等が177百万円、賞与引当金が125百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は21,313百万円となり、前事業年度末と比べ127百万円増加しました。これは、利益剰余金が125百万円、その他有価証券評価差額金が2百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,454	9,481
売掛金	2,168	1,689
商品及び製品	435	512
仕掛品	28	28
原材料及び貯蔵品	267	255
関係会社短期貸付金	5,500	5,500
その他	75	65
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	17,921	17,525
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,133	2,097
機械及び装置（純額）	1,377	1,349
その他（純額）	1,152	1,143
有形固定資産合計	4,663	4,590
無形固定資産	12	11
投資その他の資産		
投資有価証券	1,525	1,528
その他	357	292
投資その他の資産合計	1,883	1,821
固定資産合計	6,559	6,422
資産合計	24,481	23,948

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,410	1,078
リース債務	1	1
未払法人税等	231	54
賞与引当金	192	67
役員賞与引当金	10	0
その他	487	468
流動負債合計	2,333	1,670
固定負債		
リース債務	4	3
退職給付引当金	943	956
役員退職慰労引当金	14	4
固定負債合計	962	964
負債合計	3,295	2,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	21,903	22,029
自己株式	△3,457	△3,457
株主資本合計	20,767	20,893
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	417	420
評価・換算差額等合計	417	420
純資産合計	21,185	21,313
負債純資産合計	24,481	23,948

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	3,811	3,732
売上原価	3,169	3,190
売上総利益	642	541
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	85	78
賞与引当金繰入額	9	8
役員賞与引当金繰入額	0	0
退職給付費用	7	7
役員退職慰労引当金繰入額	0	0
その他	133	129
販売費及び一般管理費合計	237	224
営業利益	405	316
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	31	44
雑収入	8	6
営業外収益合計	46	58
営業外費用		
賃貸費用	1	1
雑支出	0	1
営業外費用合計	1	2
経常利益	451	372
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
固定資産撤去費用	5	—
特別損失合計	6	0
税引前四半期純利益	445	372
法人税、住民税及び事業税	67	48
法人税等調整額	65	59
法人税等合計	132	108
四半期純利益	312	264

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	988	1,056	499	1,013	3,557	254	3,811
外部顧客への売上高	988	1,056	499	1,013	3,557	254	3,811
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	988	1,056	499	1,013	3,557	254	3,811
セグメント利益	155	31	120	93	401	4	405

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	1,004	949	430	1,012	3,396	335	3,732
外部顧客への売上高	1,004	949	430	1,012	3,396	335	3,732
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,004	949	430	1,012	3,396	335	3,732
セグメント利益	115	37	74	82	310	6	316

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。